

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 熊澤利和	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>1) 成果説明 (大要)</p> <p>(1) 【教育、研究、社会貢献等の分野】</p> <p>平成 28 年度 (2016 年度) の教育、研究等の分野に関する成果は、以下に集約される。科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) を下記の研究課題名及び期間に補助金による研究助成を受け研究を展開している。</p> <p>研究課題名: 緩和ケア及び看取りにおける意思決定プロセスの倫理的・法学的側面に関する探索的研究 補助事業期間: 平成 28 年度～平成 30 年度</p> <p>研究代表者: 熊澤利和 研究分担者: 谷口聡 (本学 経済学部) 郷堀ヨゼフ (淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所)</p> <p>平成 28 年度は、①意思決定支援の現状をについて、訪問看護師より聞き取り調査を行った。②意思決定支援の過程の現状を把握する為に a) 病院における相談窓口における調査、b) 訪問看護ステーションにおける調査の準備を行い、それぞれ次年度から調査協力が得られ実施の段階である。③ドイツ民法典において導入された典型契約として「診療契約規定」「患者の同意」等、資料収集と翻訳を行った。(研究分担者: 谷口) ④Palliative Care 等を中心に意思決定支援に関連する文献検討を行った。(研究分担者: 郷堀) これらを踏まえて次年度の研究を実施することとした。</p> <p>(2) 【学内業務の分野】</p> <p>学内業務の分野では、</p> <p>①学部長補佐として学部学科の運営にあたった。特に入試制度についての検討等に携わった。</p> <p>②新カリキュラムでは、高崎市の課題と政策 平成 28 年 (2016 年) 12 月 14 日 (水) 第 9 回「やさしい眼差しに満ちた市政」講師: こども発達支援センター所長 笠原裕美氏 保健医療部長 吉井仁氏の時に講義時及び成績の評価の担当をした。また第 12 回平成 29 年 (2017 年) 1 月 10 日 (火) まとめ②で担当した。</p> <p>(3) 【学会報告等】</p> <p>①日本地域政策学会第 15 回全国研究大会 開催日時: 平成 28 年 (2016 年) 7 月 10 日 (日) 開催場所: 関西大学高槻ミューズキャンパス 地域福祉分科会「地域の創生と地域福祉計画 ― 国の政策についての検証―」 分科会座長</p> <p>②日本仏教看護・ビハーラ学会 仏教看護・ビハーラ学会 第 12 回年次大会 日程: 平成 28 年 (2016 年) 8 月 26 日(金)～8 月 28 日(日) 会場: 西本願寺聞法会館 研究報告 (ポスター) テーマ: 緩和ケアにおける "Terminal Sedation" に関する課題について―チェコ共和国における緩和ケア・研究・教育に携わる医師等の専門職に対する聞き取り調査を手がかりに―</p> <p>○熊澤 利和 (高崎経済大学地域政策学部) 郷堀 ヨゼフ (淑徳大学・アジア国際社会福祉研究所)</p>	

【学会関連】

- ① 仏教看護・ビハーラ学会監事（平成 28 年（2016 年）9 月 1 日～平成 31 年（2019 年）年 8 月 31 日）
- ② 日本地域政策学会監事（平成 28 年（2016 年）7 月～平成 30 年（2018 年）6 月）
- ③ 大正大学社会福祉学会事務局長（継続）

【社会活動】

ラジオゼミナール（ラジオ高崎 FM76.2MHz）出演 放送日 平成 28 年（2016 年）8 月 27 日 9 月 3 日
今回は、「母子家庭に関連する課題」、「障害者権利条約から見た障害者の自己決定について」ゼミ生と討論する形で行った。

2 その他の事項

3 次年度以降の計画・抱負

平成 29 年度は、情報基盤センターを中心に教育環境等の整備に取り組んでいきたいと考えている。